

2025年3月17日

各位

会社名 株式会社中央倉庫  
代表者名 代表取締役社長執行役員 谷奥 秀実  
(コード番号 9319 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役上席執行役員  
企画管理本部長 吉田 宏二  
TEL 075-313-6151

## 第8次中期経営計画「NEXT CS-100」の策定に関するお知らせ

当社は、2025年度から2027年度までを対象期間とする第8次中期経営計画「NEXT CS-100」を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 第7次中期経営計画の振り返り

当社グループの第7次中期経営計画「Let's TRY! 2024」では、循環型ビジネス（リサイクル樹脂等）や、機工事業（輸送付随業務）の拡大、テスパックの子会社化による梱包事業の強化、不動産有効活用として京都梅小路地区宿泊施設の賃貸開始等、これまでにない収益源を開拓してまいりました。

円安・物価高による企業間物流の低迷や、燃料・動力費の高止まりによる影響等により、計画期間中に数値目標の修正を行うこととなりましたが、前述の経営努力の結果、第6次中計最終年度を上回る実績を確保できる見込みです。

#### 第6次中計最終年度と第7次中計最終年度の比較（2021-2024年度）（単位：百万円）

	2021年度 (実績)	2024年度 (予想)	2021年度比	2024年度 当初目標
営業収益	23,931	27,500	115%	29,000
営業利益	1,866	2,050	110%	2,440
経常利益	2,080	2,350	113%	2,720
ROE	3.3%	3.7%	+0.4%	—
一株当たり配当額	24円	36円	150%	—

#### 2. 第8次中期経営計画「NEXT CS-100」策定にあたって

当社は2027年10月に100周年を迎えるに当たり、次の100年もお客様・社会に必要とされ、従業員が誇りとやりがいを感じながら働く企業となるべく、新たな中期経営計画「NEXT CS-100」を策定すると共に、従来から受け継いできたコーポレートスローガン・中長期ビジョン・企業理念を再定義しました。

【コーポレートスローガン・中長期ビジョン・企業理念】

	内容
コーポレートスローガン (使命・存在意義)	未来を預かる、未来を運ぶ ✓ 倉庫・運輸・国際貨物業を中心とする総物流を社会経済活動に不可欠な公共性の高い事業であると認識し、事業を通じてステークホルダーの『未来』を『預かり、運ぶ』ことで、その幸福と持続的な発展に貢献する
中長期ビジョン (目指す未来像)	卓越した専門性と実行力でお客様や社会に新しい価値を提供し続ける企業 ✓ 100年近い歴史の中で培った、あらゆる物資を高い品質で預かり、運ぶノウハウを最大限活用し、従来の枠組みを超えて、お客様がより高い満足を得られ、社会に貢献できる仕組みやサービスを提供する
企業理念 (価値観・行動指針)	誠実・進歩・挑戦 ✓ 『誠実』を全ての判断の座標軸に据え、時代と共に『進歩』し、『挑戦』し続ける

3. 新中期経営計画「NEXT CS-100」戦略基本方針

「NEXT CS-100」のCSには、「中央倉庫」と「Challenge Spirit」の意味を込めており、第7次中計「TRY」の精神を更に発展させ、次の100年に向けて高い目標に果敢に挑戦すると共に、コーポレートスローガン・中長期ビジョンの実現を図ってまいります。

具体的には、成長分野として、輸入化学品等の取引拡大、有力企業サプライチェーンへの参画、循環型ビジネス及び機工（輸送付随業務）分野の更なる強化、物流ネットワーク拡充として、愛知県あま市の新倉庫建設及び営業開始、国内複合輸送ネットワークの構築、収益性の向上として、取引先とのDX共同推進、人材教育の強化による生産性・品質向上等によるコスト削減・採算改善を行ってまいります。

また、次期基幹システムの検討開始、イントラネット再構築やPC更新等、システム基盤整備、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた施策の実行継続、持続的な成長を支える多様な人材の確保・育成、エンゲージメント向上による人材の定着化を図ってまいります。

【戦略基本方針】

- 1) 成長分野への絶え間ない挑戦による新たな収益モデルの構築
- 2) 国内外物流ネットワークの更なる拡充
- 3) 高い業務品質・付加価値創出による収益性の向上
- 4) 情報システムの強化による高い生産効率の実現
- 5) 健全な財務体質の維持と資本効率を重視した財務・資本戦略の実行
- 6) サステナビリティ（環境・人的資本投資・ガバナンス）対応強化

#### 4. 連結業績目標

第8次中期経営計画「NEXT CS-100」は下記数値を2027年度における目標とすると共に、成長投資と資本効率改善のバランスの取れた最適なキャッシュ・アロケーションを実施して参ります。

##### 【連結業績目標】

(単位：百万円)

	2027年度 目標値	2024年度 業績予想
営業収益	31,500	27,500
営業利益	2,500	2,050
経常利益	2,650	2,350
営業利益率	7.9%	7.5%
経常利益率	8.4%	8.5%
ROE	5.0%	3.7%

##### 【キャッシュ・アロケーション予想】(2025/4~2027/3)

(単位：百万円)

キャッシュ・イン		キャッシュ・アウト	
営業CF	9,800	既存設備更新・改修	5,000
資産売却	1,500	成長投資※	7,000
借入	2,000	配当	2,100
現預金取崩	3,800	自己株買い	3,000
合計	17,100	合計	17,100

※新倉庫建設、M&A、システム投資、人的資本投資等

#### 5. 資本政策

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に資するよう時機を捉えた的確な資本政策を遂行するとともに、配当政策の基本方針として、事業の性格を踏まえ財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、株主利益を重視した配分を基本方針としております。

この方針のもと、需給動向等を見ながら機動的な自己株買いを継続すると共に、配当につきましては、安定した株主還元継続の観点から下記の通り見直し致します。

現在	純資産配当率 (DOE : Dividend on Equity) 1%程度 (連結ベース) を下限の目処とした安定配当に加え、2024年度には配当性向40%以上を目指す
第8次中計期間中	当期及び今後の連結業績、財務面での健全性等を踏まえたうえで、前年度の配当額を維持または増配する、累進配当の実施を基本方針とする

加えて、株主共同の利益を確保するため、株主総会での株主の皆様のご承認を条件として、当社株式の大量取得行為に関する対応策 (買収への対応方針) を継続する予定です。

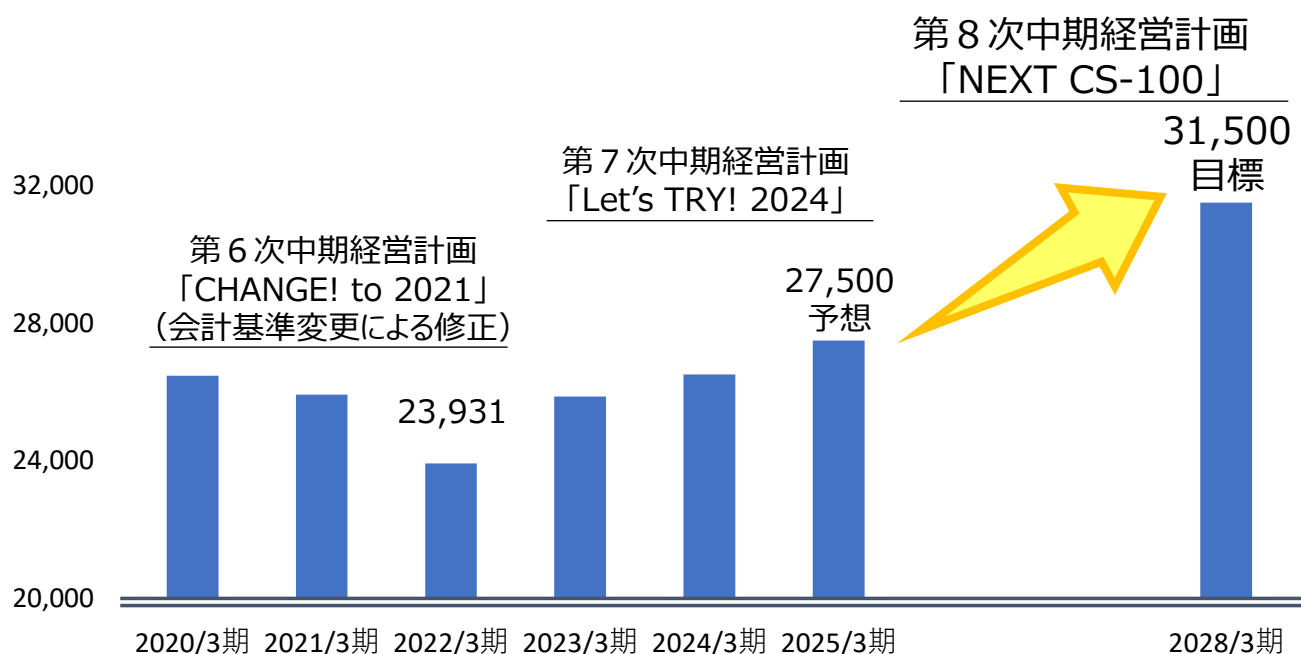
以上

本プレスリリースに含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。従って、実際の業績等はさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 連結業績目標

創業100周年に向かって、高い目標へ、**Challenge !**

(単位：百万円)



## 株主還元

第8次中期経営計画期間において  
当期及び今後の連結業績、財務面での健全性を踏まえたうえで、  
前年度の配当額を維持または増配する『累進配当』を実施

### 1株当たり配当金額推移

